



2021.11.30

令和3年度  
赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン第2弾  
いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～

# 中間報告



社会福祉法人 中央共同募金会



# 中央共同募金会は全国の都道府県共同募金会とともに「赤い羽根共同募金運動」を推進する団体です。



## 「赤い羽根共同募金」とは民間の地域福祉活動を支える「たすけあい」の募金

- 戦後間もない1947年に、市民主体の「たすけあい」運動として、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援することを目的に始まり、1951年に法制化。現在は「社会福祉法」に定義。
- 2020年度までの累計募金額は約1兆188億円（2020年度募金額 約168億8,700万円）
- 全国の市区町村・都道府県にネットワークがあり、集められた都道府県の中でその都道府県内の福祉のために使われる（約7割が募金された市区町村内の福祉活動に使われ、約3割が募金された都道府県域の福祉活動や災害時の被災者支援のための積立に使われる）

### 市区町村 共同募金委員会

- 地域住民により身近な募金実施機関として、都道府県共同募金会が、市区町村に設置。
- 多くは市区町村社会福祉協議会が事務局を担っている。

### 都道府県 共同募金会

- 共同募金の実施主体として社会福祉法に規定されている社会福祉法人。
- 共同募金の他に、共同募金運動期間以外の寄付金の受け入れや災害義援金の受付も行う。

### 中央共同募金会

- 47都道府県共同募金会の相互や他機関・団体との連絡調整を行う連合組織



病院で入院中の子どもたちを応援(福井県)



発達に偏りのある子どもたちの「生きる力」を育て(宮崎県)

- 毎年1回、10月1日から翌年3月31日まで、全国一斉に実施。

10月1日から  
赤い羽根共同募金運動  
展開中

あなたと私は、赤い羽根でつながっている。



「あの人」を支えたい。困ったときはお互いさまだから。  
その小さな思いが、街角から、ネットから、地域の住民から集まってくる。  
意志あるお金は「あの人」を支えるための力となる。  
募金をする人、活動をする人、支えられる人。  
みんな、赤い羽根でつながっているのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



**共同募金会は、草の根の福祉活動、制度の狭間の課題解決を目指す先駆的な活動、災害支援活動など、様々な民間福祉活動を応援しています**



赤い羽根  
福祉基金

## 赤い羽根福祉基金 (中央共同募金会 実施)

2021年度助成：13件、1億855万円

- ・ 制度の狭間の社会課題解決を目的とした先駆的、全国的な福祉活動を公募して助成。
- ・ 1団体あたりの助成上限額1,000万円×最大3年間まで助成

## 社会課題テーマ別の募金 寄付者の意向に応じた募金

(中央共同募金会単独または  
都道府県共同募金会との協働実施)

- ・ 特定の課題に基づくテーマ別の募金と助成
- ・ 寄付者の意向に応じた助成



## 赤い羽根共同募金 (都道府県共同募金会 実施)

2020年度助成実績  
47,618件、143億7,736万6,108円

- ・ 高齢者サロンやこども食堂などの草の根のボランティア活動から、福祉施設の改修まで、社会福祉法人、NPO、ボランティア団体などが実施する様々な民間福祉活動に対して助成
- ・ 1団体あたりの助成額は、年間数千円～数百万円

- ・「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉 活動応援全国キャンペーン」
- ・アサヒ飲料様からの寄付による全国のこども食堂支援
- ・盛和塾様からの寄付による児童養護施設等を退所した若者の自立支援
- ・松本敏夫様からの寄付による児童養護施設で生活する子どもたちへのオンライン学習環境の整備 など

## 災害関係

### 災害ボランティア・NPO活動サポート募金(支援金)

発災時  ←各災害ごと

災害時のボランティア・NPO活動を支援する募金

常設(発災への備え、防災)

都道府県域を対象に、発災に備えた基盤整備活動に対し、助成



### 災害等準備金

災害ボランティアセンターの運営費用等、災害ボランティア活動を支援するための準備金（各都道府県の共同募金の3%を3年間積立）

### 災害義援金

被災都道府県行政が実施する被災者の見舞金、生活支援金のための募金。共同募金会が日本赤十字社とともに寄付受付窓口を担う。



## 2020年3月～2021年3月までの コロナ禍での緊急支援募金と助成

寄付総額 約**13億9,268万円**

助成決定

のべ**3,422件+425人、8億7,554万円**

(新旧キャンペーン、三菱財団共同助成、盛和塾含む)

### 赤い羽根 臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援活動 (旧キャンペーン)

臨時休校に伴い、社会的孤立が懸念される子どもや保護者を緊急的に支援する活動を応援

- 1団体あたり助成額：10万円
- 募金活動開始 (2020/3/4～)
- 第1回(3/19)、第2回助成決定 (3/26)
- 第3回助成決定 (4/30)

助成決定総額 **555件、4,467万円** (第1～3回)



食材の配布



弁当の配達

↓ **2020.5月からキャンペーンを拡大**

## 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

### 子どもと家族の緊急支援助成 (各都道府県共募実施)

子どもと家族をめぐる生活課題を解決するための活動や、見守りを兼ねた配食、環境衛生に配慮した居場所づくりなど、緊急支援活動を地域の状況をふまえて応援

- 1団体あたり助成上限額：10万円～数十万円

47都道府県で、**1,877件、322,550,846円**の助成決定

### 居場所を失った人への緊急活動応援助成 (中央共募実施)

虐待やネグレクト、家庭内暴力 (DV) などの状況により家にいられない、職や家を失うなど、コロナ禍の影響で居場所を失い、孤立する人々に対する相談支援、居場所やシェアターの提供、などの緊急支援活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円

第1回公募：**21件、3,953万1,000円**の助成決定(2020/7/6)

第2回公募：**29件、6,277万1,991円**の助成決定(2020/12/25)

### フードバンク活動等応援助成 (中央共募実施)

困窮・孤立する家庭や人々を支援する施設・団体などへ、企業や地域から寄贈された食料を緊急的に届けるフードバンク、フードパントリーなどの活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：100万円～300万円

第1回公募：**120件、1億333万円**の助成決定 (2020/6/22)

第2回公募：**114件、9,509万円**の助成決定 (2020/9/30)

### withコロナ 草の根活動応援助成 (中央共募実施)

草の根のボランティア団体・NPO等による、withコロナにおいて持続可能な活動を行うため、新たな活動を展開するためのツール・資材等の整備などを応援

- 1団体あたり助成額：10万円

第1回公募：**148件、1,480万円**の助成決定(2020/8/24)

第2回公募：**203件、2,030万円**の助成決定(2020/9/29)

第3回公募：**300件、3,000万円**の助成決定(2021/3/17)

### 三菱財団×中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

国内に在住し、コロナ禍の影響で生活に困窮する外国にルーツがある人々を支援する活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円 **55件、1億円**の助成決定(2020/9/10)

### 盛和塾 社会人定着応援プログラム

児童養護施設等の出身者で大学等に進学した学生に対し、1人あたり10万円を緊急助成

**425人 4,250万円**助成(2020/6/30,7/29)

2020年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

**約3万2千日の活動に、のべ約8万2千人のボランティアが参加し、のべ約114万人の人々を支援**

(助成先団体からの活動報告書集計結果より 2021.11.30現在)

プログラム名	活動日数		対象者		ボランティア	
	日数 (日)	実数 (人)	延数 (人)	実数 (人)	延数 (人)	
 臨時休校中の子どもと家族を 支えよう緊急支援活動助成	8,123	51,735	201,889	4,898	27,659	
 フードバンク活動等応援助成	19,319	208,707	884,996	6,092	50,054	
 居場所を失った人への 緊急活動応援助成	4,750	7,909	53,320	115	4,518	
プログラム合計	<b>32,192</b>	<b>268,351</b>	<b>1,140,205</b>	<b>11,105</b>	<b>82,231</b>	

## フードバンク活動等応援助成

### 「コロナ禍による生活困窮世帯の支援拠点整備と配布食材購入事業」

鹿児島県曾於市

財部町身体障害者協議会（フードバンクそお）

フードバンクそおは、2018年から活動を開始し、こども食堂と連携した活動、母子家庭等の児童の学習支援を行うNPO、児童養護施設、母子寡婦福祉協議会を通じて母子家庭等に対して、食品の提供活動等を実施しています。コロナ禍の影響により緊急に食品等を必要とする人々が増え、フードバンクの役割が大きくなるなか、第1回助成で冷凍・冷蔵保管庫が整備できたことから、冷凍・冷蔵食品を引き受けることが可能となり、食料支援が必要と判断された場合、タイムリーな支援ができるようになりました。

離職を余儀なくされたり、就労日数や時間が短縮されたりして、収入が減少し、生活費や食費が不足する家庭が増えています。第2回助成では、お米等の食材を購入し、生活相談支援センター等において、生活困窮者への食料支援を展開しました。たとえば数日食べていない方には、まず食事をしていただき、数日分の食材等を渡すなど、緊急相談を含めた様々な相談ケースで、食料提供という支援をよりスムーズに実現できる体制ができたと考えています。



## withコロナ 草の根活動応援成事業

### 「新たな活動のためのツール・資材等の整備事業」

香川県高松市

高松市まちづくり学校実行委員会

私たちは市民向けに市民活動や地域活動の担い手育成講座を年7回開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染下の講座開催では感染症対策が求められるものの、備品購入のための資金が不足していて、開催が危ぶまれていました。

そこでこの助成により、オンライン講座用のパソコンやWEBカメラ、マイクなどと、対面講座用に非接触体温計と消毒液を購入しました。

その結果、感染症対策をしながらの少人数での対面講座と、WEBを利用したのオンライン講座を開催することができ、公開講座ではこれまでのべ90名ほどの市民に参加していただきました。

コロナ禍であっても高松の市民活動の裾野を広げる活動ができました。ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございました。





## 2021年度も、共同募金会は、新型コロナウイルス感染下の福祉活動を応援しています。



- 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、経済状況の悪化などにより、困窮する人、様々な生活上の困難に直面する人々、孤立する人々が増加することが危惧されている。
- また、こうした状況を起因とする自殺者の増加も大きな問題となっており、困難な状況にある人々に寄り添い、自殺を未然に防ぐことに社会の大きな関心が寄せられている。

### <数字で見る社会課題>

★生活福祉資金 感染拡大に伴う特例貸付件数：約**306万件**以上、貸付総額：**1兆2,934億円超**

★感染拡大の影響による解雇・雇い止め 2020年2月以降**12万970人**

(厚生労働省調べ2021.11.19現在)

★2020年度のDV相談件数190,030件 (**前年度比約1.6倍**、内閣府調べ)

★自殺者数21,081人 (2020年警察庁調べ、参考：2019年20,169人)

特に**女性 (前年比935人増)**、**20代 (前年比404人増)** で増加している

★感染拡大に伴う休業や勤務時間減のため、**シングルマザーの6割が収入減、11%の人が収入がない**という調査結果も (2020.5しんぐるまざあず・ふぉーらむ調べ)

# 令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン 第2弾 いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～



寄付総額：約2億3,200万円 助成決定総額：約4億3,481万円 (2021.11.30現在、助成は今後も継続)

## ■地域に密着した生活支援活動助成（各都道府県共募実施）

民間の相談支援、食支援、学習支援、居場所支援など、地域に密着して行われる多様な生活支援活動を行う団体を応援

- 1団体あたり助成上限額：10万円～数十万円

**47都道府県で、約2億5000万円の助成を実施中**

## ■居場所を失った人への緊急活動応援助成（中央共募実施）

虐待やネグレクト、家庭内暴力（DV）などの状況により家にいられない、職や家を失うなど、コロナ禍の影響で居場所を失い、孤立する人々に対する相談支援、居場所やシェルターの提供、などの緊急支援活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円

第3回助成公募実施（2021年4月16日～5月10日）

**27件、総額5,899万円 助成決定（2021/6/25付）**

第4回助成公募実施（2021年10月21日～11月18日）

**現在審査中（応募総数：108件、約2億5,800万円 12月下旬助成決定予定）**

## ■フードバンク活動等応援助成（中央共募実施）

困窮・孤立する家庭や人々を支援する施設・団体などへ、企業や地域から寄贈された食料を緊急的に届けるフードバンク、フードパントリーなどの活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：100万円（大型資機材を整備する場合は300万円）

第3回助成公募実施（2021年6月2日～7月5日）

**70件、総額4,977万円 助成決定（2021/8/11付）**

## ■外国にルーツがある人々への支援活動応援助成（中央共募実施・三菱財団共催）

国内に在住し、コロナ禍の影響で生活に困窮する外国にルーツがある人々を支援する活動を応援

- 1団体あたり助成上限額：300万円

第2回助成公募実施（2021年9月28日～10月20日）

**43件、総額7,605万円 助成決定（2021/11/30付）**

## いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～

### ■今後の新規助成企画

#### ■重症児とその家族に対する支援活動応援助成（仮称）

医療的ケア児支援法が今年9月から施行され、障害福祉サービスにおける看護師配置加算などの運営費用や学校での看護師配置などは制度として保障される方向となった一方で、感染拡大の影響により、サービスの利用を中止する、家族内感染や面会制限・付き添い制限への不安、困りごととも増加するなど、重症児や難病児やその家族の置かれる状況も厳しくなっている。

ポストコロナの社会状況下において、重い病気や重度の障がいのある子、医療的ケアを必要とする子どもや、その家族を支援することを目的とした事業・活動へ助成を行う。

- ①子どもや家族の居場所（通所・宿泊含む）・遊び場・学習の場等を地域に開設または運営する事業・活動
- ②子どもや家族の孤立防止を目的とした事業・活動
- ③子どもの学習環境向上や社会体験の機会提供などを目的とする事業・活動
- ④子どもや家族のレスパイトを目的とした事業・活動
- ⑤その他、子どもや家族の支援のために必要と認められる事業・活動

#### ■コロナ禍における地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材の養成・実践助成（仮称）

##### ①コロナ禍における地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材を養成する研修開発のための助成

コロナ禍における地域での孤立に気づき、見守る地域人材を養成するための研修コンテンツの開発・制作への助成

##### ②コロナ禍における地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材を養成する研修および実践への助成

地区社協や地縁組織等が実施するコロナ禍における地域での孤立に気づき、見守る地域人材養成研修（①で制作したコンテンツを活用）およびその実践としてのサロン・見守り・相談支援等の地域福祉活動※への助成

※サロン・見守り・相談支援等における感染症対策・オンライン対応等の取り組みを含む

中央共同募金会の取り組みは、下記ホームページやSNSでも発信しています。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。



■「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」報告ページ

<https://www.akaihane.or.jp/camp-covid19-houkoku/>

助成先の活動報告も掲載しています。

【お問合せ先】

社会福祉法人 中央共同募金会 (担当：基金事業部)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755

メール● [kikin@c.akaihane.or.jp](mailto:kikin@c.akaihane.or.jp)

ホームページ● <https://www.akaihane.or.jp/>

Facebook● <https://www.facebook.com/akaihane/>

Twitter● [https://twitter.com/akaihane\\_chuo](https://twitter.com/akaihane_chuo)